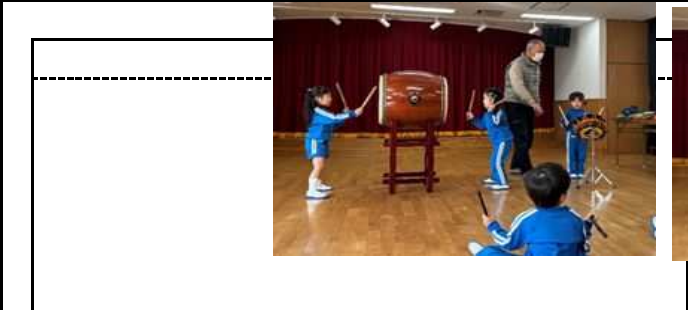


事業活動実績報告書

施設名	和光幼稚園
教育理念	「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	和太鼓演奏
2 実施期間	令和 6 年 5 月 15 日 ～ 令和 7 年 3 月 5 日

3 取組概要	(取組日) 令和 6 年 5 月 15 日 ～ 令和 6 年 7 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 〈1学期〉年中児が毎月、和太鼓教室の保育を行っている。講師を招き、日本の文化や伝統に触れながら、体力やリズム感を養うとともに、和太鼓の響きを味わっていく。パチをしっかりと握るために、まずは、講師の小泉先生と一緒に、指や手、腕、肩の準備運動。昨年の和太鼓演奏会や見学会で、少しイメージが付いている子もいる。順番に和太鼓を叩いていくが、待っている間は各々が手作りのパチで、曲に合わせて叩く練習を行う。リズムに合わせて叩くことはなかなか難しいので、保育者も個々に寄り添いながら一緒にリズムを叩いていく。 
	(取組日) 令和 6 年 7 月 22 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 〈夏祭り〉今年も、園の行事の夏祭りに小泉先生をお招きし、盆踊りの曲に合わせて、和太鼓ならではの軽快なリズムを演奏していただいた。曲は今年度初披露の「和光音頭」と「ピカチュウ音頭」。今年も園庭とホールで1曲ずつ演奏していただき、子ども達は本物の和太鼓の音色・リズムが響く中で、和太鼓を囲んで、盆踊りを大いに楽しみながら踊ることができた。コロナ禍以降、盆踊りに参加する機会の少なくなった子ども達に、日本古来の夏の風物詩である盆踊りを、生の和太鼓の演奏とともに、雰囲気を感じ、楽しむことができた。また、今年は、子ども達のお神輿の練り歩きの際に、笛と太鼓の生演奏もしていただき、子ども達はお祭りの雰囲気を感じることができた。 
	(取組日) 令和 6 年 9 月 1 日 ～ 令和 6 年 12 月 20 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 〈2学期〉子ども達は、和太鼓を叩くことに少しずつ慣れてきた。盆踊りで楽しい雰囲気を感じることはできたが、実際にリズムに合わせることや、力強く音を出すことは、難しい。しっかりした音で叩くことができる子が増えてきた一方で、まだ叩く力が弱かったり、リズムに合わせることが難しい子もいる。年々、パチを握る力が弱くなっている子が増えているように感じる。講師や保育者が一緒に叩くことで、パチの握り方や体の使い方を教えていく。 
	(取組日) 令和 7 年 1 月 17 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 〈獅子舞・和太鼓鑑賞会〉小泉先生所属の「ひさおの会」の皆さんが、日本の伝統文化である獅子舞の演奏と迫力ある和太鼓演奏を披露してくださった。獅子舞を怖がる子もいたが、熱心に見入っている子も多く、獅子舞の細かな動きを楽しんでいた。和太鼓演奏では、会場中に響き渡る和太鼓の力強い音や体に伝わってくる太鼓の振動に、子ども達も保育者の私達も圧倒され、大変感動した。今年は、三味線の演奏もしていただいた。和太鼓の持つ本物の響きを間近で体験し味わうことができた。また演奏後には、和太鼓を叩く体験があり、どの学年の子も夢中で叩いていた。 

				
3	取組概要	(取組日) 令和 7 年 1 月 23 日 ~ 令和 7 年 3 月 5 日		
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 〈3学期:和太鼓教室〉和太鼓の本物の音色を体験した子ども達。和太鼓を叩くぞ！といった真剣な姿がどの子にも見られた。和太鼓演奏鑑賞後は、しっかり握って叩くことができた。リズムに乗せて力強く叩く子も増えた。まだリズムに合わせる 것이 難しい子も、一生懸命に叩き方をマスターしようと取り組む姿があった。手作りのパチで真剣な眼差しで積極的に楽しみながら練習している子が多かった。今年は、中太鼓も叩くことができ、楽器の大きさ・パチの太さ・重さ・叩く力・響きなどを感じる ことができた。新しい楽器と出会った喜び、軽快な音色や叩く楽しさを感じる姿が見られた。		
				
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	

効果検証報告書

施設名	和光幼稚園		
教育理念	「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う		
事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現		
1 事業名	和太鼓演奏		
2 事業概要	和太鼓教室の講師を、本園の行事に招き、本格的な和太鼓の演奏を披露してもらうことで、日本文化に触れるとともに、和太鼓の素晴らしさを伝え、年中児が毎週行っている「和太鼓」の保育において、意欲的に和太鼓をより楽しく叩くことへ繋げていく。		
計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 本園、和太鼓教室の講師である小泉氏が、園行事「夏祭り」で、子どもたちが踊る曲に乗せて、和太鼓ならではの軽快なリズムを本格的に演奏する。毎月子どもたちと練習している和太鼓の本物のリズムと音色を披露する。 「獅子舞・和太鼓鑑賞会」では、小泉先生率いる和太鼓奏者の方々が、日本の伝統文化である獅子舞の演舞と本格的な和太鼓演奏を子どもたちに披露し、和太鼓の迫力ある音やリズムを伝える。和太鼓教室においても、いろいろな種類の和太鼓を叩く。	
	事業後	3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 今年度の講師の和太鼓の演奏も、和太鼓本来の音色やリズムを子ども達に直に伝えることができ、会場全体や耳や体に響き渡る感覚を子ども達が実体験することができる良い機会になった。また、近年少なくなった盆踊り・獅子舞や和楽器・和太鼓演奏会は、日本の伝統文化に触れる良い機会にもなっている。今年度も、演奏会が開けたおかげで、生演奏でしか味わうことのできない、振動や迫力を子ども達に体験させることができ、その後の和太鼓教室でも力強く和太鼓を叩く姿や、叩きたいと思う意欲に繋がっていると感じる。また今回は、中太鼓を叩く機会も増え、同じ和太鼓でも楽器の大きさによって、叩き方、音色の違いがあることを体験できた楽しい機会となった。ただ、太鼓が小さくなると、軽くて音が鳴りやすい反面、叩く部分の面積が狭くなるので、子どもにとっては難しい一面があることがわかった。
計画時	4 事業のねらい	本園は、「健康」と「表現」の領域を教育の2大柱とし、子どもたち心身ともに健やかな成長を促すとともに、個性豊かな感性を養っていくことを特色としている。和太鼓教室は、本園において長年行われている保育である。日本の文化や伝統に触れながら、リズム感を養うとともに、和太鼓の響きを十分に味わっている。本物の和太鼓演奏を聴く機会をもつことで、和太鼓により興味や関心を持ち、年中児においては、毎月の保育の中で行っている和太鼓を、より楽しくリズムを叩いたり、新しいリズムに挑戦したい気持ちが芽生えるようにしていく。また、本物の和太鼓の音を感じることで、より力強く太鼓が打てるようにしていく。昨年度の和太鼓演奏会で、子ども自身が小さきままな和太鼓を叩くことを体験し、大変楽しかったとともに、和太鼓に対して興味も湧いてきた。普段の和太鼓教室においても、いろいろな種類の和太鼓を叩くことで、日本文化に触れ、音の違いや感触の違いを楽しむ。	
	事業後	4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 本園において、和太鼓教室は「健康」と「表現」の領域の保育において、特色のある保育活動になっている。ただ、近年の子ども達にとって、和太鼓はあまり近い存在とは言えないのかもしれない。昨年に続き、和太鼓を知るために、盆踊りや獅子舞鑑賞会で和太鼓の演奏を取り入れてみた。その結果、楽しいリズムを知ったり、迫力ある音を実感したりする中で、子ども達のやる気や意欲に繋がっている。音をしっかりと鳴らすためには、強く握ったり、腕を上から振り下ろすなど、体力的な向上にも繋がっていきたいところだが、近年、子ども達のバチを握る力の低下を懸念している。「健康」と「表現」の領域での成長が多く見られる活動なので、これからも大切にしていきたい。

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 夏祭り(7月22日)：園の行事である夏祭りに、和太鼓講師の小泉氏を招き、子どもたちが踊る曲に乗せて、和太鼓ならではの軽快なリズムを本格的に演奏していただく。子どもたちは、和太鼓の演奏の入った曲で、日本古来の夏の風物詩である盆踊りの雰囲気を味わいながら、楽しんで踊ってほしい。 獅子舞・和太鼓鑑賞会(1月17日)：和太鼓講師の小泉氏率いる和太鼓奏者の方々が、日本の伝統文化である獅子舞の演舞と本格的な和太鼓演奏を子どもたちに披露し、和太鼓の迫力ある音やリズムを味わってほしい。子どもたちに、自分もあんなふうに叩いてみたい、と思う気持ちへ繋げる取り組み。普段の和太鼓教室においても、いろいろな種類の和太鼓を叩くことで、より楽しく、また日本文化にもより触れることができる。
事業後	事業実績から推測される効果や改善点等 盆踊りでの和太鼓の軽快でリズムカルな演奏は、盆踊りの雰囲気を盛り上げ、子ども達は楽しく踊ることが出来た。十分に夏の風物詩である盆踊りの雰囲気を味わうことも出来た。和太鼓そのものというよりは、子ども達は踊ることに一生懸命で、和太鼓が加わった盆踊りの雰囲気を楽しむといった感じが強い。今年度は、お神輿の練り歩きに笛と太鼓のお囃子の演奏もしていただいた。お祭りの雰囲気が一段と高まり、雰囲気を味わえた。 獅子舞鑑賞会では、和太鼓の本格的な演奏を鑑賞することが出来た。想像以上の音量と振動が伝わってくる迫力満点の演奏であった。子ども達は、和太鼓の音ってあんなに大きいんだ、あんなふうに叩いてみたい！と思ったに違いない。実際に3学期の和太鼓教室の音は力強くなった。和太鼓を叩く体験も全園児ができてとても良かった。

計画時	6 環境構成	夏祭り：場所 和光幼稚園園庭・ホール 準備物：和太鼓(ホール用・園庭用の2台) 環境構成：年長児はホールにて、年中児～満3歳児は園庭にて、和太鼓を中心に円形に並ぶ。夏祭りに向けて練習してきた「まんまる音頭」と「ピカチュウ音頭」を小泉氏による本格的な和太鼓の演奏に乗せて踊る。 獅子舞・和太鼓鑑賞会：場所 和光幼稚園ホール 準備物：全て小泉氏が準備 環境構成：獅子舞や和太鼓の演奏が鑑賞できるように、小さな年齢のクラスから順に床に座る。年長児のみ椅子に座る。獅子舞が移動しやすいように、中央部分を通路用にあけておく。(お誕生日会の配置で座る) 獅子舞を怖がる子がいることを想定し、保育者はすぐに寄り添えるようにしておく。和太鼓演奏では、和太鼓に加え、中太鼓、小太鼓、笛、お囃子を設置する。演奏後、さまざまな和太鼓を叩く体験も行う。 和太鼓教室：通常の和太鼓(盆踊り太鼓)以外の太鼓も叩き、さまざまな音色やリズム、叩き方、感触を経験する。
	事業後	事業実績から推測される効果や改善点等 夏祭り：和太鼓演奏は、園庭とホールの2か所で行った。ゆったりとした中で踊れたり、鑑賞できるので、とてもよかった。今年度より「和光音頭」ができたので、毎年踊る予定である。音響が和太鼓の演奏者にとっては少し聴き取りにくかったようなので、来年度は大きめで流したい。 獅子舞鑑賞会：今年度も「ひさおの会」の皆さんをお招きした。去年は急遽体調不良の方が出て、ひよっとこのお面を被った楽しい演目に急遽変更されたが、それが返って楽しかった。今年はなかったのですが、来年度はその演目を依頼してみようと思う。最後に、中太鼓と小太鼓を叩く体験を年少から年長児の全園児が行った。年長児は昨年を思い出し、年少児はワクワクしながら叩く子も多く、来年度の和太鼓教室への良い影響が期待できそうである。

7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 夏祭り：今年度も、子どもたちは6月頃から「まんまる音頭」や「ピカチュウ音頭」を集会後のリズム運動やプールの準備運動として踊る。普段はCDのみで踊っているこの2曲を、夏祭りでは和太鼓教室講師が、本格的な軽快なリズムで和太鼓を演奏して盛り上げる。子どもたちも、和太鼓が加わった演奏に、より楽しく踊る姿が期待できる。年中児も、普段叩いているリズムとは違う和太鼓のリズムを聴くことができ、和太鼓の存在感や楽しさを実感できる機会になる。 獅子舞・和太鼓鑑賞会：獅子舞の演舞に加えて、和太鼓の演奏を聴く。和太鼓の演奏は、数人での和楽の演奏となり、和太鼓の迫力ある音やリズムを聴き、凄いなあと思うと同時に、あんなふうに叩きたいな、自分も頑張ろう！と、毎月の和太鼓に意欲的に取り組もうとする姿が期待される。いろいろな大きさの和太鼓を叩く体験をすることで、太鼓の特徴も知ることができ、日本の文化にもより触れることができる。
事業後	7についての効果・検証 事業実績から推測される効果や改善点等 夏祭り：今年度も、子ども達は集会やプールの準備体操として、2曲を踊っていた。「和光音頭」も新たに加わったので、楽しく踊ることができた。夏祭り当日は、本格的な和太鼓の軽快なリズムも加わり、お祭りの雰囲気十分に楽しく踊ることができた。お神輿のお囃子も生演奏だったので、とても盛り上がった夏祭りとなった。 獅子舞鑑賞会：和太鼓や和楽の演奏では、迫力ある和太鼓の音やリズムを聴き、また体全体で感じ、凄いなあと思うと同時に、あんなふうに叩きたいな、自分も頑張ろう！と、毎月の和太鼓に意欲的に取り組もうとする姿が見られた。いろいろな大きさの和太鼓を叩く体験をすることで、太鼓の特徴も知ることができ、日本の文化にもより触れることができた。
8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 日本の伝統文化、伝統芸能に触れる中で、「和太鼓」というものを知り、そして親しみ、おおいに興味をもってくれることを期待し、そして、和太鼓教室の教育活動においても、より楽しく和太鼓を叩いてくれるだろう…という思いを込めて、昨年度よりこの事業を企画した。今年度も夏の盆踊りでは軽快なリズムと楽しい雰囲気を、1月の和太鼓演奏では力強い迫力満点の和太鼓を、この2つの楽しさを子ども達は体験し、「和太鼓」を多面的に知ることができた。特に1月の和太鼓演奏を聴いた後の和太鼓教室では、子ども達の意識が変わり、以前よりも大きな音で叩けたり、リズムを合わせようとする気持ちが芽生えた。ただ、力強く叩くには、バチをしっかり握るという点で、握力の弱い子もあり、改善策や工夫が必要に思う。また、しっかり立つ、腕をより上から力強く振り下ろす、という動作も大切になるので、腕の可動域も意識していきたい。和太鼓鑑賞は、子ども達にさまざまな体験をさせてくれる良い機会になっているので、ぜひ来年も続けて行いたいと思う。本物体験から生まれる感動から起こる、自分もやってみたい！と思えるような教育・保育をこれからも続けていきたい。また今後の教育・保育において、目の前にいる子ども達の現状をしっかりと把握しながら、その姿に寄り添い、成長に繋がる活動内容を行っていききたいと思う。